

みなさんの「地域づくり」の
活動を応援します

FUTURE CREATION 2011



第12回

中部の未来創造大賞



中部の未来創造大賞推進協議会

第12回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。第12回目にあたる今回は、3部門で36件の応募をいただきました。表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件、奨励賞3件が選考されました。本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

募集部門



住民部門

個人やNPOなどの民間団体など、一般住民からの応募を対象



企業・学校部門

企業、学校、公益法人などからの応募を対象



行政部門

行政機関(国及び地方公共団体、公団・公社を含む)からの応募を対象



“いい地域はいい学校から”
“いい学校はいい地域から”
～小学校を拠点とした地域づくり～



地域における
水辺の生物多様性の保全活動



高校生が提案します!
地域との協働による町おこし



希少動植物の環境保全整備活動



巨大な地下空間を住民と
「一緒に」して守る高校生



表浜BLUE WALK



自然の恵みを生かす里山の取り組み



目指せ! みんなの癒しの場、
エコパーク



絶滅危惧種オオアカウキクサの
農業利用プロジェクト

CONTENTS

第12回「中部の未来創造大賞」について…………… 1

大賞

[住民部門] …………… 3

“いい地域はいい学校から”
“いい学校はいい地域から”
～小学校を拠点とした地域づくり～

優秀賞

[住民部門] …………… 5

表浜BLUE WALK

[住民部門] …………… 6

自然の恵みを生かす里山の取り組み

[企業・学校部門] …………… 7

高校生が提案します!
地域との協働による町おこし

中部経済連合会賞

[住民部門] …………… 8

地域における水辺の生物多様性の保全活動

中日新聞社賞

[企業・学校部門] …………… 9

巨大な地下空間を住民と「一緒に」して守る高校生

奨励賞

[住民部門] …………… 10

希少動植物の環境保全整備活動

[企業・学校部門] …………… 11

絶滅危惧種オオアカウキクサの
農業利用プロジェクト

[住民・行政部門] …………… 12

目指せ! みんなの癒しの場、エコパーク

選考を終えて(表彰委員より)…………… 13

第1回～11回主な受賞活動…………… 14

“いい地域は いい学校から” “いい学校は いい地域 から” ～ 小学校を拠点とした地域づくり ～



石樽の里コミュニティ

〒511-0266 三重県いなべ市大安町石樽南611 (いなべ市立石樽小学校)
TEL 0594-78-0002

「子どもは地域の宝であり、地域と学校が力を合わせて守り育てる。」「学校を地域の拠点とし、交流・協働による学校づくり・人づくり・里づくりに取り組む。」という活動理念のもと、「いい地域は、いい学校から」「いい学校は、いい地域から」を合言葉に子どもも大人も皆が誇れる「石樽の里」を目指して活動しています。

活動のルーツは、2001年に始まった旧校舎の建替計画を検討した「建設委員会」にあります。5年53回にも及ぶワークショップを経て、新校舎の活用方法から学校づくり・人づくり・里(地域)づくりへと意識や目的が広がり、その後、地域や学校を支える各種団体等(自治会、老人会、民生児童委員、保育園・小学校・中学校の各PTA代表など)と一緒に、地域全体で子どもを守り育てるための方策を検討し、連携した取り組みを進めています。主な活動は次のとおりです。

- ・ 地域最大のまつり「石樽の里まつり」を企画・運営しています。1300人(地域住民の4分の1以上)以上もの住民が集う交流の場であり、地域みんなが元気になる取り組みです。
- ・ 地域の伝統や歴史を児童やその保護者に指導し伝承しています。石樽の地域産業である「石樽茶の栽培」「炭焼き」「米作り」などの体験を支援しています。
- ・ 通学路や地域での安全確保を図るため“見守り隊”と称し、通学の同行や危険個所での見守り活動、子どもを守る家の訪問、防犯教室などを行っています。
- ・ 休日や放課後に学校の一部を開放し、その管理・運営を行っています。開放時には、地域の人が得意とする料理、手話、グランドゴルフなどの教室を開いたり、地域図書の貸し出しや読み聞かせを行っています。
- ・ 地域の拠点である学校の美化活動は、子どもたちの学習環境の整備や地域の景観向上に大きく貢献しています。また、活動後の地域住民、保護者、子ども、学校職員との交流も、欠かせない楽しみとなっています。



米づくり



炭焼



2011年石樽の里まつり



お茶摘み



日曜地域清掃

表浜BLUE WALK



住民部門

虹のとびら

〒440-0002 愛知県豊橋市下条東町字白石97-11
TEL 090-3412-4774
URL <http://nijinotobira.org/>

表浜BWは表浜海岸50kmを10日間かけて歩きながら、泊まりながら、楽しみながら海岸清掃をする活動です。2011年で第5回目の開催を終え、これまでに延べ2500名以上が参加しました。環境問題は複雑で活動が始める際の敷居が高く、特に若い世代が環境問題に取り組むには何か“きっかけ”が必要です。表浜BWのスタッフは若い世代(平均年齢は20代)を中心とするメンバーで構成され、環境問題に取り組もうと考えた学生などが参加しやすい“場”を有しています。表浜BWの活動は海岸清掃による漂着ゴミの除去のみならず、若い世代へ“取り組みやすい場”と“きっかけ”を提供します。まずたくさんの人に楽しみながら自らのライフスタイルや海岸の環境問題に触れてもらうことを目的としています。また、漂着ゴミを回収することで沿岸域を利用するアカウミガメや海鳥などの野生生物が被るプラスチックの誤飲や釣り糸による被害の減少に寄与しています。

さらに学生を中心とした運営スタッフメンバーには企業との交渉や報告書の作成、イベントの運営など様々な経験を積んでもらうことによって社会的な成長を促します。



炎天下で協力しての活動



拾っても拾ってもゴミ

自然の恵みを生かす里山の取り組み



湖西フロンティア倶楽部

〒431-0403 静岡県湖西市大知波772-3
TEL 090-1291-3210
URL [http:// www.kosai.org/?page_id=44](http://www.kosai.org/?page_id=44)

地域の活性化を目指して、青年団OBが主体となって組織化しました。青少年リーダーの育成、地域文化の継承や地域内の各種団体との連携による住みやすい地域づくりに積極的に取り組んでいます。

具体的には、以下の活動を行っています。

- ・湖西市内にある文化財を広く市民に知ってもらうこと。
- ・自然環境の保護と保全意識の啓発活動。
- ・おちばの里親水公園の整備。
- ・大知波峠廃寺跡(文化財)の保護と保全
- ・浜名湖、河川、森林等を利用した自然観察会
- ・青少年リーダー・環境教育リーダーの育成
- ・こども自然クラブの運営



シイタケのほだ木づくりをする親子



川のそうじや雑草取りをする子どもたち

高校生が提案します！ 地域との協働による町おこし



三重県立相可高等学校

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可50番地
TEL 0598-38-2811
URL <http://www.mie-c.ed.jp/houka/>

多気町唯一の高校として、地域からの理解や協力が得られやすく、「生徒の夢をかなえ、地域と共に歩む学校」を目指す学校像とし、地域の生涯学習の役割を担う開かれた学校づくりをしてきました。

地域の食文化の継承と発展、地場産業の宣伝・消費に貢献し、明るい話題を全国に情報発信しています。

具体的には、以下の活動を行っています。

- ・ 研修施設「まごの店」の運営
- ・ 企業等との協働プロジェクト(地元産品を使った加工品開発)
- ・ 地域の食育ネットワークづくり(小中学生を対象にした料理教室やテーブルマナー教室等)
- ・ 食を通じた地域交流、福祉交流、国際交流
- ・ 地域食材を使ってコンクールに挑戦、地域に明るい話題提供
- ・ 相可高新聞「かわら版」を通して、地域の名所、特産物等を紹介し、地域と高校生の架け橋の役割を担う。



小学生が育てた食材を使った料理教室



研修施設「まごの店」 店内の様子

地域における 水辺の生物多様性の保全活動



水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

〒519-0222 三重県亀山市両尾町
TEL 090-4233-5695
URL <http://cherry@ztv.ne.jp>

流域各集落における魚の方言や水辺の過去の状況等について、地元の高齢者から聞き取りを行い、冊子としてまとめ、地域学習用に小学校や図書館等に寄贈しました。また、現状を調査しつつ、外来魚の駆除や魚道の整備促進等水辺環境の具体的な改善、希少魚の繁殖等に向けた活動を通し、住民の水辺への関心を高め、地域の生物多様性を保全していくことを目的として活動しています。



高塚池お魚放流式



道野池かいどり(環境教育)



おいけかいどり

巨大な地下空間を 住民と「ご一緒」して守る高校生



長野俊英高等学校 郷土研究班

〒388-8006 長野県長野市篠ノ井御幣川1045
TEL 026-292-0726

1985年より学校のそばにある巨大な地下空間、戦争遺跡「大本営等予定松代地下壕群」を住民と協働して守り、地域の発展のために活動をしています。また、取り組みを通じて郷土を愛しお年寄りを敬う礼儀と謙虚さを身につけていきます。

具体的な活動内容は、以下の通りです。

- ・遺跡の調査と、戦争体験等の証言の収録、冊子化
- ・長野市や県に保存と公開を要請
- ・国の史跡への指定と、世界文化遺産登録を目指す
- ・年間10万人以上になる見学者の案内と交流
- ・大本営関連グッズを考案し、地域の産物と共に地域活性化の為に販売
- ・大本営等予定松代地下壕群の内外及び周辺的环境美化

現在長野市開発公社や長野県学習旅行誘致推進協議会と提携して、「保存・公開のきっかけをつかった高校生が案内します」というキャッチフレーズで、全国の小中学生・高校生の修学旅行などの団体の松代大本営跡への受け入れをはかっています。



菅副総理(当時)北沢防衛大臣のご視察をいただき、お褒めの言葉も頂戴できた。
生徒・父母と共に住民も出迎えた。(2010/3/27)



台湾僑泰高級中学校をお迎えして松代地下壕を案内(2010/3/2) 県学習旅行誘致推進協議会より頼まれて

希少動植物の環境保全整備活動



新山山野草等保護育成会

〒396-0621 長野県伊那市富県2785 伊那市新山土地改良区事務所内
TEL 0265-78-8099

農村環境を保全する活動として、湧水路から農地や農業用水路への土砂流入を防止するため、地域産間伐材を利用した木製堰堤を設置して、荒廃化した農地を整備し、新山地域に自生する在来山野草のザゼンソウ、シュンラン等を植栽、繁殖させています。来訪者の安全確保のため遊歩道・丸木橋・案内看板を設置し、草刈等を行い環境整備、維持管理を実施しています。

また、平成16年に希少昆虫の「ハッチョウトンボ」の生息が確認されたことをきっかけに、「トンボの楽園」として環境整備作業を継続し、周辺に昆虫保護等の自然学習のため、新山小学校6年生による、桜・クスギミズナラ等の記念植樹が毎年実施されています。



新山小学校6年生による記念植樹



保育園児のハッチョウトンボ観察会

絶滅危惧種オオアカウキクサの 農業利用プロジェクト



長野県臼田高等学校農業クラブ

〒384-0301 長野県佐久市臼田751
TEL 0267-82-2035

本校は、平成17年から千曲川支流の片貝川の上流部、佐久市十二新田の地蔵池の湧水に生息する絶滅危惧種(長野県レッドデーターIb類)オオアカウキクサ(学名:アゾラ)の調査研究を行っています。(以下オオアカウキクサをアゾラと記載します。)平成18年には、地域住民へ研究調査への理解をいただくため、「自然生態系に関わる連携」を集落と学校間で行うための5年間の中山間地域農業集落協定を結びました。同年より十二新田集落の地元の学校である佐久市立切原小学校5年生へ本校農業クラブ員2・3年生が出向いてアゾラの増殖池づくりや繁殖指導、バケツイネでの試験や学校水田へのアゾラ利用などを継続的に行ってきました。更にはアゾラによる休耕田管理やJAXAとの情報交換からアゾラの宇宙食への利用などに展開しました。足元の環境を見つめながら、日本人の主食とされるお米づくりにアゾラを保護しながら農業に活用することを通じ「食育」へのアプローチとなればと活動しています。



アゾラの学習



アゾラ水田田植え体験

目指せ!みんなの癒しの場、 エコパーク



住民部門



行政部門

御前崎エコクラブ

〒437-1623 静岡県御前崎市港6129-1
TEL 0548-63-3213(静岡県御前崎港管理事務所)

御前崎港内にあった緑地は、かつては管理が行き届かず樹木や雑草が生い茂り、利用がほとんどない公園でした。命のよみがえる憩いの場にしなければと、公園内にあったコンクリートの池を土で覆いビオトープに復活させました。その後、御前崎港管理事務所と協働のワークショップを実施して整備を進め、その結果、明るく安全な手づくりの公園に生まれ変わりました。

エコパークをみんなの癒しの場にする事、様々な実践活動を通じて地域づくり、仲間づくり、人づくりをすること、環境を守り、育てること、児童等への社会教育の場を創出することを目的に活動を行っています。

- ・ 毎月第3日曜日にエコパークにおいて、花の植栽、植樹、樹木の剪定、草刈り、遊歩道づくり等を行っている。
- ・ 地域の活性化を目的に、エコパーク祭り、あじさい祭りを開催している。
- ・ 植樹や草木染め(どんぶち染め)、貝殻への多肉植物の植栽等の体験学習を行っている。
- ・ 小学生や幼稚園児に、母の日の花束作り、草木染め等の環境学習を支援している。
- ・ 公園内のあずまやエコパークに咲く花や蝶、鳥の写真を展示し、市民に広く紹介するとともに、来訪した方に説明を行っている。



染物体験教室を開催



多肉植物の植栽体験を指導

委員長

名古屋工業大学大学院教授

山本 幸司 やまもと こうじ

この3年間、中部の未来創造大賞への応募数が減少傾向にあることは残念であるが、一次審査に合格した13事案については、選考委員が手分けして現地調査にお伺いした際の関係者からのご説明にも熱が入り、日頃の積極的な活動を理解することができた。表彰枠数に限りがあるため、惜しくも選外となった応募事案の関係各位には申し訳ない思いが募るが、今後とも活発な活動を継続して頂くことを切にお願い申し上げます。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

応募件数は減少したが、受賞された活動は質的に優れたものが多かった。小学校を拠点とする地域コミュニティの優れた活動や地域をフィールドにした高校生の活動には、「新しい公」の主体として持続的に発展させて欲しいと今後に期待を寄せるものである。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

現地調査に伺った団体は地元
の素材を生かした活動で、地域に
対して波及効果を生んでいる。特
に地域の教育力を見せてくれた
活動が印象的だった。まだまだ立
派な活動が各地で行われている
ので、本賞が励ましの意味になる
ようさらなる発掘を期待する。



選考を終えて
(表彰委員より)

委員

中日新聞論説委員

前田 弘司 まえだ こうじ

応募件数は減少しても、昨年・本年と続き特色のある活動が応募されたのは嬉しい。とくに、高校生が地域と密着しながらユニークな成果をあげているのは、特筆すべきである。若い人々の活躍を今後とも期待したい。

委員

名古屋大学大学院教授

森川 高行 もりかわ たかゆき

今回初めて審査委員をやらせていただいたが、応募案件はどれも地域の皆さんの熱意が大いに感じられて好印象であった。受賞案件は何年もかけて改善を積み重ねてきたものが多く、やはり継続力と向上心が重要と感じた。今後、学生や現役勤労者を中心とした取り組みがもっと増えることを期待したい。

委員

(社)中部経済連合会専務理事

伊藤 範久 いたう のりひさ

今回は応募件数が昨年より減少したものの、各地で展開されている活動は、いずれも設定した目的を目指して地道かつ真摯に取り組まれており、その姿勢には改めて敬服させられるばかりです。

各団体の今後の活動がますます発展され、より良い地域づくりにつながることを祈念いたします。

委員

中部地方整備局長

足立 敏之 あだち としゆき

東日本大震災に見舞われた年ですが、高校生、大学生といった「次世代を担う若い力」が核となって学校や住民の方々と協働する取り組みが進められており、中部の未来に明るい希望が持てました。こうした取り組みが、この中部いっぱい広がっていくことを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

社団法人
土木学会 中部支部

社団法人
中部建設協会

社団法人
日本建設業連合会 中部支部

社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人
長野県建設業協会

社団法人
岐阜県建設業協会

社団法人
静岡県建設業協会

社団法人
愛知県建設業協会

社団法人
三重県建設業協会

中日新聞社

後援/社団法人
中部経済連合会

中部の未来創造大賞とは？

これからの「地域づくり」は、社会資本の整備だけでなく、その維持・活用や環境保全、その地域の持つ歴史と伝統への配慮などを総合的に考え推進していくことが不可欠です。また、平成20年に閣議決定された国土形成計画(全体計画)では「新たな公」を基軸とする地域づくりの視点が盛り込まれています。「中部の未来創造大賞」では、このような観点から、民間、行政の垣根を越えた幅広い分野で取り組まれているみなさま方の活動を募り、表彰し、広く一般に紹介することによって、これからの新しい中部の「地域づくり」に役立てていきたいと考えています。

●第1～11回（平成12～22年度）の主な受賞活動

住民部門

宿場の賑わい
復活プロジェクト

宿場の賑わい復活一座



二百万本の彼岸花と四季の花々
で童話の里を彩る環境美化活動

矢勝川を環境を守る会



相生山緑地
オアシスの森くらぶ

相生山緑地オアシスの森くらぶ



熊野古道始神峠の
整備・保存活動

始神峠を守る会



白馬山麓における
積雪期の事故防止活動

特定非営利活動法人 ACT



企業・学校部門

守ろう。ふるさとの水門川&
地域ぐるみの親子早期清掃

大垣市立興文小学校



2020年笠原の森
プロジェクト

多治見市立笠原中学校



“夢を大地に”
アクションプログラム

静岡県立磐田農業高等学校



輝け、サンセット
(夕日美しい丘)ナンバー1

阿南町立阿南第二中学校



富士山高原の酪農を
元気にする高校生の挑戦

静岡県立富岳館高等学校



行政部門

わしら自慢の公園じゃ
まあいっぺん見にきておくれ
～働く元気高齢者

藤原町役場



里山に生きる
牧田保育園

上石津町役場



うだつ上がる町並みを
生かしたまちづくり

美濃市建設部都市整備課



三島市街中が
せせらぎ事業

静岡県三島市



八穂環境学習教室

海部地区環境事務組合
八穂クリーンセンター



FUTURE CREATION 2011

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会



中部の未来創造大賞については
右記のホームページをご覧ください。



<http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/>

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 TEL(052)953-8127

社団法人 中部建設協会 業務部 TEL(052)962-9086

 mirai@ckk.or.jp